

NEWS RELEASE

2015.3.6

今回は前後期に分けて展覧会を開催

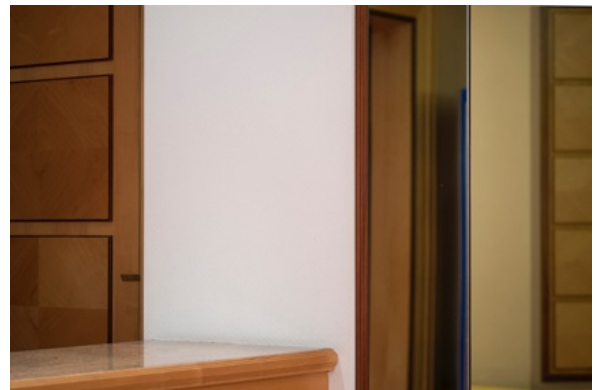
「ポーラ ミュージアム アネックス展 2015 — ザ・ニュー・ヴィジョン — 」 若手アーティスト 4 名によるグループ展 4 月 7 日(火)より

ポーラ ミュージアム アネックス(中央区銀座 1 丁目)では、2015 年 4 月 7 日(火)から 4 月 26 日(日)まで、「ポーラ ミュージアム アネックス展 2015 — ザ・ニュー・ヴィジョン — 」を開催します。

「ポーラ ミュージアム アネックス展」は過去に公益財団法人ポーラ美術振興財団での若手芸術家の在外研修に対する助成において、採択されたアーティストの作品を展示します。ポーラ ミュージアム アネックスでの発表をきっかけに、今後の活動に活かしていただきたいという趣旨から開始しました。今回は前後期に分けて 8 名のアーティストを紹介します。

後期となる本展は『ザ・ニュー・ヴィジョン』をテーマに美術評論家の木島俊介氏 監修のもと、4 名の若手アーティストによる写真からインスタレーションまで個性豊かな作品をご紹介します。

若手芸術家の在外研修に対する助成とは、公益財団法人ポーラ美術振興財団が毎年実施している活動のひとつで、35 歳以下のアーティストを対象に海外での研修を援助し、日本の芸術分野の専門性を高めていこうとするものです。



左上：石塚まこ 「Bookshelf」 2014 年 アクト/インスタレーション

左下：内田亜里 「Earthbound612 "INOMURE"」 2014 年 インクジェットプリント

右上：越後正志 「All is fish that comes to the net」 2014 年 ネオン、鉄、バケツ、ミラー

右下：飯沼珠実 「Japan in East Germany #1 Interhotel Merkur Leipzig」 2014 年、ピグメントプリント

【リリースに関するお問い合わせ】 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】 ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

Ⅱ 展覧会概要 Ⅱ

展覧会名：ポーラ ミュージアム アネックス展 2015 - ザ・ニュー・ヴィジョン -
会 期：2015年4月7日(火) - 4月26日(日)【20日間】*会期中無休
会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階)
アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ
東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分
JR 有楽町駅 京橋口改札口徒歩5分
主 催：公益財団法人ポーラ美術振興財団
監 修：木島 俊介 (公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館館長)
開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)
入 場 料：無料

Ⅱ 監修者コメント Ⅱ

当展は、公益財団法人ポーラ美術振興財団が、1996年以来実施している「若手芸術家の在外研修に対する助成」を受けられた方々に、その研修成果をご披露いただく趣旨に沿って毎年開催されており、今回で第7回を迎える。当展では写真を表現メディアとして使われている4人のアーティストを選んでみた。写真表現はリアリズムを基本としているという認識から、展覧会の名称を「ザ・ニュー・ヴィジョン」としてみたが、もちろん、「リアリズム」の意味するところも多様であるので、4人のアーティストの表現内容をこの名称によって限定しているわけではない。それぞれのアーティストの個性的で斬新なヴィジョンをご享受いただければ幸甚である。

Ⅱ 監修者プロフィール Ⅱ

木島 俊介：ポーラ美術館館長。1939年、鳥取県生まれ。慶応義塾大学文学部卒業、美学・美術史専攻。フィレンツェ大学、ニューヨーク大学大学院、同美術史研究所に学ぶ。群馬県立近代美術館館長および群馬県立館林美術館館長、共立女子大学教授等を務め、現在、同大学名誉教授、東急文化村ザ・ミュージアム プロデューサー。主要著書に、『美しき時祷書の世界』（中央公論社）、『アメリカ現代美術の25人』（集英社）、『女たちが変えたピカソ』（中公文庫）、『名画が愛した女たち 画家とモデルの物語』（集英社）、『クリムトとウィーン』（六耀社）、翻訳書に、『ヨーロッパの装飾芸術 全3巻』（中央公論新社）などがある。

Ⅱ 公益財団法人ポーラ美術振興財団の活動概要 Ⅱ

公益財団法人ポーラ美術振興財団では、日本文化の向上・発展に寄与することを目的に、美術分野などの若手芸術家及び美術の専門職員に対する助成活動を行っています。主に美術分野における研究活動テーマを広く一般から募集し、有識者で構成される選考委員会によって採択・助成し、日本文化の向上、発展に寄与することを目的に、以下の活動を行っています。

【参考資料：平成26年度助成採択内容】

	(採択数)	(助成金額)
(1)若手芸術家の在外研修に対する助成	18件	5,422万円
(2)美術館職員の調査研究に対する助成	12件	1,955万円
(3)美術に関する国際交流の助成	12件	2,188万円

|| 作家プロフィール ||

石塚 まこ
Mako ISHIZUKA

- 1974年 神戸市生まれ
- 1997年 神戸女学院大学文学部総合文化学科卒業
- 2003年 ヘリット・リートフェルト・アカデミー 修了 (オランダ)
- 2004年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員 (スウェーデン)
- 2005年 マルメ・アート・アカデミー 修士課程修了 (スウェーデン)
- 2007年 文化庁新進芸術家海外研修制度研修派遣生 (スウェーデン)

【主な展覧会】

- 2007年 「Vårsalongen」 Liljevalchs Konsthall (スウェーデン・ストックホルム)
「Reflection of Space」 Galleri Andréhn-Schiptjenko (スウェーデン・ストックホルム)
- 2009年 「ゲンピどこでも企画」 広島市現代美術館 (広島)
- 2011年 「Gifts of Intimacy」 Tensta Konsthall (スウェーデン・ストックホルム)
- 2013年 「ARAI*500 - Palatti Schopf」 Ledi Overegg (スイス・アッペンツェル)
- 2014年 「Fittja Pavilion」 Serra dei Giardini (イタリア・ヴェニス、建築ビエンナーレ)
「Avant-Garden」 La Générale en Manufacture (フランス・セーヴル、FIAC "Parcours VIP")

URL: www.makois.com



「Wind Ensemble (in four movements)」
2013/2015年
アクト/インスタレーション

内田 亜里
Ali UCHIDA

- 1978年 東京都生まれ
- 2001年 東京造形大学デザイン1類写真コース卒業
- 2006年 文化庁新進芸術家国内研修員 (東京芸術大学写真センター)
- 2012年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員 (インド・ゴア)

【主な展覧会】

- 2009年 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」 越後妻有地区(新潟県十日町市・津南町)
- 2010年 「Earthbound ー 濟州島と対馬から写真をー」 鷹見明彦企画 Musee F (東京)
「金石範 火山島を語る！」 右分書院刊 金石範・著 内田亜里・写真
- 2011年 「Invitation Au Voyage」 新見隆企画 ギャラリー冊 (東京)
- 2013年 「"Colours of Faith ー 彼の地の色- " Exhibition of Gum Bichromate Prints」
Aurodhan Art Gallery (インド・ボンディチェリー)
「Gum Bichromate」 Thalam (インド・バンガロール)
- 2014年 「序曲、出会いと五感の交響楽=大分」 大分県立美術館 (大分)

URL <http://www.aliworks.net>



「Earthbound612 "DAIFUDOIWAYA"」
2014年 インクジェットプリント

越後 正志

Masashi ECHIGO

1982年 富山県生まれ

2005年 武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業

2007年 武蔵野美術大学大学院造形研究科修了

2010年 公益財団法人吉野石膏美術振興財団在外研修員（ベルギー）

2011年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員
（ベルギー、フィンランド）

2014年 武蔵野美術大学パリ賞受賞

【主な展覧会】

2010年 個展「*Immanence*」ローマ国立近現代美術館（イタリア・ローマ）

2011年 個展「*From an effort to a cause*」Cablegallery, HIAP（フィンランド・ヘルシンキ）

2012年 個展「*Public sharing of private monopoly*」ジョグジャカルタ国立美術館
（インドネシア・ジョグジャカルタ）

2013年 瀬戸内国際芸術祭2013（小豆島、香川）

2014年 個展「*All is fish that comes to the net*」クンストラーハウス・ベタニエン（ドイツ・ベルリン）

URL:<http://masashiechigo.com>



「All is fish that comes to the net」
2014年 ポスター、フォトアクリル

飯沼 珠実

Tamami IINUMA

1983年 東京都生まれ

2006年 武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業

2008年 多摩美術大学美術研究科博士前期課程修了

2009年 ライプツィヒ視覚芸術アカデミー研究生（ドイツ）

2011年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員（ドイツ）

2013年～東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程入学

2014年～シテ・インターナショナル・デザール・パリ 滞在アーティスト(フランス)

【主な展覧会】

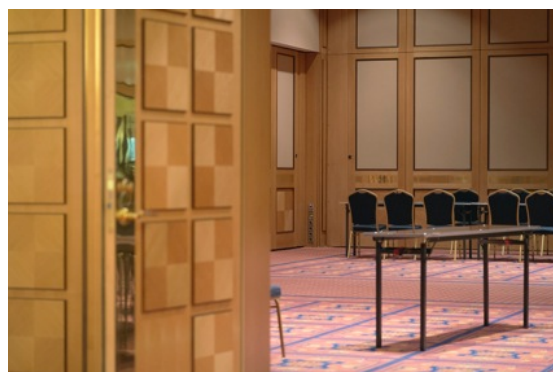
2012年 「The 5th International Photobook Festival」LE BAL（フランス・パリ）

2012年 「欧州文化首都ギマラエンスnoc noc」アルベルト・サンパイオ美術館別館
（ポルトガル・ギマラエンス）

「F/STOP 5. Festival fuer Fotografie Leipzig」Leipziger Baumwollspinnerei
（ドイツ・ライプツィヒ）

2014年 「第30回東川町国際写真フェスティバル」東川町赤レンガ倉庫（北海道）

URL:<http://www.tamamiii.com/>



「Japan in East Germany #1 Interhotel Merkur Leipzig」
2014年 ピグメントプリント